

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 多摩川ホールディングス
 コード番号 6838 URL <http://www.tmex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 宇留嶋 健二
 (氏名) 小倉 俊一

TEL 0467-79-7027

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	631	△50.4	△64	—	△60	—	△266	—
21年3月期第1四半期	1,273	—	76	—	84	—	84	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	△50.66	—
21年3月期第1四半期	16.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	2,633	1,317	50.0	250.53
21年3月期	3,009	1,465	48.7	278.67

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,317百万円 21年3月期 1,465百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無
 現時点では、平成22年3月期配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	1,489	△45.6	△62	—	△65	—	△270	—	△51.34
通期	3,389	△21.2	139	—	133	—	△72	—	△13.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社 (社名) 除外 6社 (社名 アプライト・テクノロジーズ社)
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	5,461,000株	21年3月期	5,461,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	201,648株	21年3月期	201,648株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	5,259,352株	21年3月期第1四半期	5,259,840株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月20日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
3. 平成22年3月期の配当予想については、現時点では未定のため、開示しておりません。今後の業績などを総合的に勘案し、決定次第速やかに開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱が国内経済にも波及し、輸出産業の需要減退と企業業績の悪化、雇用や個人所得の不安を背景とした個人消費の低迷など、非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループの主要な事業である電子・通信用機器の事業分野につきましては、3.9世代の標準化や2GHz帯TDD、3.5世代の高度化等の制度整備が行われ、それに伴った新しい引き合いが徐々に増えてきました。また、地上波デジタル放送関連機器は、中継装置等を中心に比較的底堅く推移しました。

レーザー機器につきましては、主要顧客が、米国をはじめとした世界景気の低迷の影響を受け、撤退を決定いたしました。

その他事業につきましては、主な内容は、子会社に対する経営指導料であります。

当社グループといたしましては、収益重視の観点のもとに営業・生産活動を行い、当第1四半期連結会計期間の受注高は657百万円(前年同期比53.5%減)、売上高は631百万円(同50.4%減)となりました。

損益面では、売上高は低調に推移し、営業損失は64百万円(前年同期は営業利益76百万円)、経常損失は60百万円(前年同期は経常利益84百万円)となりました。当第1四半期純損益につきましては、投資有価証券評価損199百万円及び未収配当金5百万円に対する貸倒引当金繰入額を特別損失として計上したことなどにより、四半期純損失266百万円(前年同期は四半期純利益84百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子・通信用機器事業

当第1四半期連結会計期間における売上高は、前連結事業年度後半からの売上高を維持しておりましたが、設備投資及びその更新が一段落したことに伴い、厳しい状況で推移いたしました。

売上高につきましては、541百万円(前年同期比45.7%減)となっており、売上高の減少に加え営業費用が大きく圧迫し、営業損失102百万円(前年同期は営業利益59百万円)となりました。

②レーザー機器事業

当第1四半期連結会計期間において撤退を決定いたしました。

売上高につきましては、89百万円(前年同期比67.8%減)となっており、売上高に対し営業費用が大きく圧迫し、営業損失1百万円(同90.4%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ376百万円減少し、2,633百万円となりました。

これは主に、投資有価証券評価損を計上した結果によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ228百万円減少し、1,315百万円となりました。

これは主に、買掛債務の減少を中心とした流動負債の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、1,317百万円となりました。

これは主に、前述の特別損失の計上等を行った結果によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失、棚卸資産の増加、借入金の返済等の資金減少要因があり、前連結会計期間末に比べ102百万円減少し、612百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果流入した資金は15百万円（前年同期は23百万円の資金流入）となりました。これは主に売上債権の減少19百万円、仕入債務の増加57百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果流出した資金は21百万円（前年同期は16百万円の資金流入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9百万円及び無形固定資産の取得による支出10百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果流出した資金は72百万円（前年同期は88百万円の資金流出）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出10百万円、長期借入金の返済による支出45百万円および社債の償還による支出16百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の業績予想につきましては、経営環境が大きく変化をしておりますので、これらの経営環境の変化を踏まえて精査いたしましたところ連結売上高の予想といたしましては、3,389百万円を見込んでおりますが、営業利益139百万円、経常利益133百万円及び当期純損失72百万円と予想しております。

なお、平成21年5月20日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,389	139	133	133	25 29
今回修正予想 (B)	3,389	139	133	△72	△13 69
増減額 (B-A)	0	0	0	△205	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績	4,298	△68	△127	△408	△77 61

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるアプライト・テクノロジーズ社及びその子会社を解散したため、当社の関係会社から6社が除外されております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の棚卸高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法によっております。

② 定率法を採用している減価償却資産の減価償却方法

当連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分する方法により当第1四半期連結会計期間の減価償却費を計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	717,587	819,963
受取手形及び売掛金	929,638	1,033,012
商品及び製品	35,866	115,281
仕掛品	236,672	124,328
原材料及び貯蔵品	79,773	105,471
その他	47,610	46,657
流動資産合計	2,047,149	2,244,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	496,249	496,249
減価償却累計額	△337,503	△334,052
建物及び構築物(純額)	158,745	162,197
工具、器具及び備品	668,242	861,371
減価償却累計額	△581,785	△773,103
工具、器具及び備品(純額)	86,457	88,267
機械装置及び運搬具	33,688	49,056
減価償却累計額	△31,538	△46,907
機械装置及び運搬具(純額)	2,149	2,149
土地	197,903	197,903
有形固定資産合計	445,256	450,517
無形固定資産		
ソフトウェア	33,332	25,308
その他	21,998	22,059
無形固定資産合計	55,330	47,367
投資その他の資産		
投資有価証券	65,365	251,426
その他	190,095	35,670
貸倒引当金	△170,178	△20,114
投資その他の資産合計	85,282	266,981
固定資産合計	585,869	764,867
資産合計	2,633,019	3,009,581

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,721	511,194
短期借入金	200,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	134,665	163,810
1年内償還予定の社債	133,600	133,600
未払金	67,985	108,178
未払法人税等	2,279	6,808
賞与引当金	16,879	27,531
関係会社整理損失引当金	22,393	35,230
その他	48,608	29,885
流動負債合計	1,053,132	1,226,237
固定負債		
社債	116,100	132,800
長期借入金	67,040	83,660
繰延税金負債	4,591	1,375
退職給付引当金	74,513	71,404
その他	—	28,485
固定負債合計	262,244	317,725
負債合計	1,315,377	1,543,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,029,413	1,029,413
資本剰余金	1,023,804	1,023,804
利益剰余金	△678,911	△619,481
自己株式	△59,987	△59,987
株主資本合計	1,314,317	1,373,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,261	△5,015
為替換算調整勘定	△1,937	96,886
評価・換算差額等合計	3,324	91,871
純資産合計	1,317,641	1,465,618
負債純資産合計	2,633,019	3,009,581

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,273,165	631,036
売上原価	959,366	524,586
売上総利益	313,799	106,449
販売費及び一般管理費	237,109	170,942
営業利益又は営業損失(△)	76,690	△64,493
営業外収益		
受取利息	4,981	171
受取配当金	7,580	149
為替差益	8,960	—
その他	7,354	6,266
営業外収益合計	28,875	6,587
営業外費用		
支払利息	11,807	2,297
その他	9,211	—
営業外費用合計	21,019	2,297
経常利益又は経常損失(△)	84,546	△60,202
特別損失		
投資有価証券評価損	—	199,999
貸倒引当金繰入額	—	5,130
その他	—	28
特別損失合計	—	205,158
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	84,546	△265,360
法人税、住民税及び事業税	1,914	1,080
法人税等合計	1,914	1,080
少数株主損失(△)	△1,604	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	84,237	△266,440

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	84,546	△265,360
減価償却費	48,157	17,171
受取利息及び受取配当金	△12,561	△321
支払利息	3,068	2,297
為替差損益 (△は益)	△8,960	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	199,999
売上債権の増減額 (△は増加)	233,254	19,600
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△104,597	△45,667
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,536	57,618
その他	△123,048	34,104
小計	71,323	19,441
利息及び配当金の受取額	12,578	4,985
利息の支払額	△3,310	△1,568
法人税等の支払額	△57,577	△7,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,014	15,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	255,820	—
有形固定資産の取得による支出	△38,827	△9,551
無形固定資産の取得による支出	—	△10,314
投資有価証券の取得による支出	△200,450	△446
その他	—	△888
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,542	△21,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△10,000
長期借入れによる収入	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△101,364	△45,765
社債の償還による支出	△16,700	△16,700
配当金の支払額	△10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,074	△72,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,130	△1,910
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△54,647	△80,127
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△22,248
現金及び現金同等物の期首残高	601,214	714,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	546,566	612,443

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	997,112	276,053	1,273,165	—	1,273,165
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	997,112	276,053	1,273,165	—	1,273,165
営業利益	59,531	17,158	76,690	—	76,690

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	541,486	89,550	—	631,036	—	631,036
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	120	—	105,000	105,120	105,120	—
計	541,606	89,550	105,000	736,156	105,120	631,036
営業利益又は営業損失 (△)	△102,239	1,651	36,094	△64,493	—	△64,493

(注) 事業区分の方法

事業は、製品の種類・用途により区分しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (千円)	シンガポール (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,044,942	228,223	1,273,165	—	1,273,165
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,044,942	228,223	1,273,165	—	1,273,165
営業利益	66,203	10,487	76,690	—	76,690

（注）国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間において、四半期純損失が266,440千円あったものの、アプライト・テクノロジーズ社の解散に伴う連結除外による増加が207,011千円あったことにより、連結剰余金の金額が59,429千円減少しております。